

# 加佐

学校教育目標

『仲間とともに 夢と希望をはぐくみ 学びあい 認めあい 鍛えあう生徒の育成』

学校だより 冬休み月号

平成 29 年 12 月 22 日

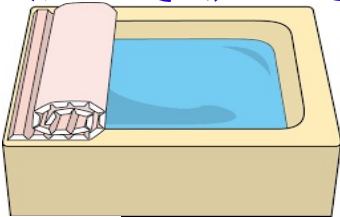
舞鶴市立加佐中学校

TEL 83-0004 FAX 83-3201

E-mail kasa-jhs@kyoto-be.ne.jp



## 改めて意識して感じなくてはならないもの



多くの行事があった2学期も、保護者及び地域の皆様のご理解と

ご協力のお陰で終えることができました。本当に感謝申し上げます。

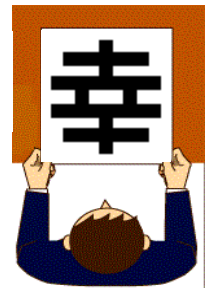
明日から、学校は冬休みに入りますが、子どもたちの健全育成のために、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。



お湯の入った桶を持つと重さを感じますが、それを湯船の中に沈めて持つと重さを感じなくなります。この話は、理科の授業で気圧の説明をするときにします。気圧とは、空気の重さによって生じる圧力のことです。空気は、1リットルで約1.3gの重さしかありませんが上空高くまであるので、何と頭の上には150kg以上の空気の重さが加わっている計算になります。しかし、実際に気圧による重さは体感できませんし、誰も気圧によって首の骨を折った人はいません。そこで湯船の例をあげて、お湯の中でお湯の重さを感じないのと同じように、空気の中で空気の重さを感じないとの理解に導きます。同様のことが生活の中にもないでしょうか？“人の支え”と言う湯船にどっぷりと浸っているのに、それが当たり前になって感謝するどころか逆に文句ばかり言ってないでしょうか。改めて、今の自分自身を見つめ直すのも必要だとお風呂に入りながら、ふと思いました。ただ、考え事をしながら長湯をしているとついついボ～と睡魔に襲われて“ブクブク”気を付けなければ・・・

## 漢字“幸”は、こう言う意味が・・・？

“幸”の訓読みは『しあわせ』です。この言葉の本質を突く意味を“幸”の漢字は持っているように思います。右の図は、手前の人が書初めで半紙に書いた漢字“幸”を上（高い所）から観ているものです。ここで机上の“幸”を図の人の正面側（反対側）から観るとどの様になりますか？（実際、この便りを



180°回転させて観てください。）同じく“幸”であり『しあわせ』と読めますね。要は、人と人との間では、自分が“幸”であれば相手にも“幸”となり、逆に相手にとっての“幸”も自分の“幸”になるのです。これが“幸”即ち『しあわせ』の意味するところではないでしょうか。但し“幸”は、正面から真面目に向き合う人同士の間だけで成り立つ関係です。割り込んで横から観ると“卍”となり“幸”にはなりません。更に“幸”と書いた半紙をひっくり返して裏側から観ても“幸”になります。本当の『しあわせ』には、裏表がないのです。

来年は、自分の“幸”が、相手の『しあわせ』になり、その相手の“幸”が、新たな相手の『しあわせ』につながり・・・とその輪が拡がり、世界が平和になりますように！



校長 山口 茂  
教職員一同